

北九州市立商工貿易会館 指定管理者検討会 会議録

1 開催日時 令和6年10月10日(木) 14:00~15:00

2 場 所 北九州市立商工貿易会館 702会議室

3 出席者 (検討会構成員) 吉村構成員、則松構成員、河田構成員、辻構成員
(事務局) 産業経済局産業政策課長、産業政策担当係長、職員

4 会議内容

○ 構成員の互選により、座長を選出

○ 検討会の手順、選定基準、採点方法について、事務局より説明

○ 応募団体(北九州商工会議所)より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 貸館として、エントランスホール、多目的ホール、5階と7階の会議室があるが、主にどのような方で、どのような目的で利用しているか。

(応募団体) 令和5年度の利用件数は1,600件程度。うち、利用の7~8割は市内の個人や団体。目的で多いのは講演会やセミナーであり、その他には定期的な利用がある書道などの教室、仲間内でのミーティングや同窓会としての利用もある。

(構成員) 商工貿易会館の付近には、旦過市場、医療センター、福祉関係の施設などの公共施設や、隣には神社やホテルがある。これらを一体としたイベントなどの計画はあるか。もしくは、これから打ち出す予定はあるか。

(応募団体) 現時点では、具体的な企画はないが、地域との連携という面では、旦過市場が会館を事務室で利用しており、また、祇園太鼓の練習や山車の展示を行うなど協力関係は図れている。

イベントなどの予定はないが、商工会議所は様々な団体と連携しているため、その中で会議やセミナーなどの話があれば積極的な利用の呼びかけを行っていく。

(構成員) 新たにテレワークブースを設置する説明があったが、具体的にどのような物を、どこに置くのか。

(応募団体) イメージとしては公衆電話ボックスのような個室ブースをエントランスホールの自動販売機付近に設置しようと考えている。

(構成員) そのブースにランケーブルを通して、パソコンが使えるようなイメージか。

(応募団体) そのとおりである。

(構成員) 来館者の主な目的は入居団体への用事と思われるが、テレワークブースの新設によって、ブースの利用目的で来館者が増えることが期待できると思う。情報提供コーナーを設けることで、より充実したサービスを提供できるとい

うことか。

(応募団体) 商工貿易会館と商工会議所の名前が似ており、商工会議所と間違えて商工貿易会館に来館される方が一定数いる。情報提供コーナーを設けることで、そのような方に必要な資料を提供でき、商工貿易会館で完結できることとなり、より充実したサービスの提供につながるものと考えている。

(構成員) 情報提供コーナーの利用者が、関心のある内容があった際にサポート (face-to-face など) はあるか。

(応募団体) 商工会議所の件であれば、テレワークブースの利用によって、即時オンラインでの相談が可能。また、本部はここから 10 分程度のところにあるため、職員が来館する、または利用者が訪問するなど即日の対応が可能である。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。その後、発表された得点や当日の質疑応答当の内容を踏まえて意見交換。

(構成員) この指定管理のメイン業務は、清掃や警備などの建物の管理であり、提案概要や過去の実績から市の要求水準は満たしていると思う。その他に、仕様書に無い付加価値としての提案部分については、この価格で賄えるのであれば、十分妥当であると思う。

(構成員) 商工会議所は、組織としての安定性や、これまでの運営実績があり、また民間企業に比べて基盤は充実している。今後、市民の方が「何かあれば商工貿易会館を利用しよう」と意識が変わっていくことはなかなか難しい。どちらかといえば、今まで使用していた方が今後も継続利用するという維持ができれば十分と思う。

(構成員) 所属団体で多目的ホールを利用しているが、利用に際して、特段要望は上がっていない。商工会議所であれば、これまでのとおりの運営が維持できるものと考えられる。新しくテレワークブースを設置すると提案があったが、あまり魅力には感じられない。

(構成員) 特段際立った目新しさは無いが、地域の総合経済団体として、35 年の運営実績があるため、今後も安定した運営ができるものと思う。

○ 検討会としての結果について

検討会としては、合計得点を 77 点で決定し、北九州商工会議所が指定管理者の候補として適当であると思う。

なお、付帯意見として、「商工貿易会館の近隣には、旦過市場、医療センター、福祉関連の施設があり、また神社やホテルが隣接している。今は各々が点としてあるが、それを面とした何か新しい取組を始めて集客できる活動を行ってほしい」を付す。